

Press Release
報道関係者各位

2025 年 9 月 26 日
株式会社メガネトップ

秋の虫たちと一緒に、年齢とともに変化する“聞こえ”について学ぶ。 『よるの むしのね ずかん』ワークショップを東京都府中市で開催しました



眼鏡市場は、虫の鳴き声を通して「聞こえることの大切さ」を学ぶワークショップ『よるの むしのね ずかん』を全国で開催しています。13 回目となる今回は、東京都府中市にあるショッピングセンター「ミッテン府中」の 9 階イベントスペースにて、2025 年 9 月 20 日（土）と 9 月 21 日（日）に開催し、2 日間で小学生までの子ども 31 名と保護者 32 名、合わせて 63 名のご家族が参加しました。

開催レポート

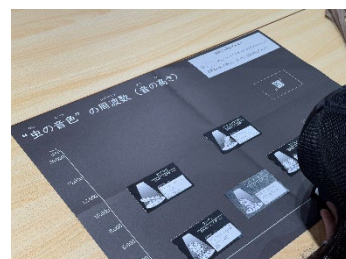
音の振動実験

音の伝わりが視覚的にわかる実験では、黒いビニールを張ったボウルの上に撒いた塩が、犬の鳴き声や電話の呼び出し音に合わせて振動する様子を観察してもらいました。音の大きさや種類によって塩の振動の仕方が異なることを体験し、塩の動きが一番激しい電話の呼び出し音が鳴った際には、一際大きな歓声が上がりました。



むしのねオノマトペ

虫の鳴き声を聞こえたまま自由に表現するワークでは、家族で声を出しながらハヤシノワマオイの鳴き声を「ジュイーン」と表現するなど、楽しみながら活動に参加していました。また、大人には聞こえにくい高音のツユムシが鳴いた場面では、反応しない大人の様子を見て、「聞こえていないの？」と不思議そうな表情を浮かべる子どもの姿がうかがえました。



むしのねクイズ

鳴き声を聞いて虫の名前を当てるクイズでは、耳を澄ませて鳴き声を聞き分けようとする真剣な様子が見られました。「むしのねオノマトペ」で自分たちが表現した鳴き声をヒントにして、全問正解した参加者もいました。家族みんなで協力し合いながらクイズの答えを考え、会場は大いに盛り上がりました。



参加者の声

- ・音の振動実験やむしのねクイズがとても楽しかった（小学2年生）
- ・実験を家でもやって、色々な音の振動を確かめたい（保護者）
- ・音を文字にすることが体験できて良かった（保護者）
- ・高い音の鳴き声になるほど大人には聞き取りづらくなることを実感した（保護者）



ワークショップ開催の背景

現在、日本では1,000万人以上の方々が何らかの理由で「聞き取りが困難だ」と感じていると言われています。特に年齢を重ねるとともに高い音から聞こえなくなっていく老人性難聴は、徐々に進行するため自分では気づきにくく、放置することで他人とのコミュニケーションが取りにくくなるなどの問題も発生します。

眼鏡市場は、補聴器を取り扱っている企業としてこの問題の一助になればと、冊子『[よるの むしのね ずかん](#)』を制作しました。これは、年齢とともに変化し自分では気づきにくい“聞き取りの変化”について、その大切さに気づいてもらう機会となるよう、スマートフォンなどのカメラ機能を利用し、虫の鳴き声を楽しみながら簡易的な“聞こえチェック”が出来る冊子※です。※ 現在は[電子版](#)のみ

この“聞き取りの変化”を多くの方々に知ってもらうため、『よるの むしのね ずかん』に登場する虫の鳴き声を使用したワークショップを2022年より全国の図書館や博物館、児童館などで開催しています。

このワークショップでは、聞き取りには個人差があることを体験し、音が伝わる原理を可視化した実験や、虫の鳴き声を聞き分けるゲームを行うなど、大人と子どもが一緒になって音や耳の仕組みを楽しく学べるプログラムが特徴です。

今後の活動について

眼鏡市場の本社がある静岡県内での活動に加え、県外でもワークショップの開催や、『よるの むしのね ずかん』パネル展示などを計画しています。

今後も、わたしたちが掲げる『関わる皆の幸せを実現し、笑顔を創造します』という企業理念のもと、人々の健康や暮らしに寄り添い、様々な社会問題に対し真摯に向き合い取り組んでまいります。

▼ワークショップ開催に関するお問い合わせ先

mail : pr@meganetop.co.jp

担当：眼鏡市場・広報事務局 掛本（カケモト）

報道関係者からのお問い合わせ先

株式会社メガネトップ 経営企画室 広報グループ 担当：掛本

TEL : 080-4923-7288 mail : pr@meganetop.co.jp